

## &lt; 運営推進会議における評価 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	株式会社ルピナス新潟	事業所名	ケアステーションるびなす
所在地	(〒950-0926) 新潟市中央区高志2丁目20番10号		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地の良さと居場所の良さを提供する。</li> <li>・居心地の良さとは家族、居場所の良さは家～ご家族の代わりに居心地の良さと居場所の良さを提供する。</li> <li>・一人暮らしでも、高齢世帯でも、認知症でも、がんの末期でも、住み慣れた地域で最期を生きることができる。</li> <li>・そのためには、医療、介護、福祉、行政の連携をはかり、ご利用者、仲間そして自らを大切にします。</li> </ul>
--

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 1 月 19 日	従業者等自己評価 実施人数	( 15 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】・・・感染拡大防止の為、集まらずに書面で意見を求めた。

実施日	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日	出席人数 (合計)	( _____ ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> 利用者 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( _____ 人 ) <input type="checkbox"/> その他 ( _____ 人 )			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有の方法を再確認し、できていない部分を検討し、周知・把握を確実にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有すべき情報をもれなく周知、把握する為の対策を決めて行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有する為に決めた方法で、情報の周知・把握が以前より確実にできている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善を、皆で提案・検討する方法で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になった事は言えるよう、聞く側は耳を傾ける様にする。</li> <li>・業務改善は主任に話すか、カンファレンスノートに記入し提案、ミーティングで検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善へ向けた提案は少なく、また提案があっても全員の意見を合わせて検討し実施するまでに時間がかかっている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修を行い、資料で確認し、対策を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修から得た知識、情報から感染予防の為に実施する事ができた。</li> <li>・具体的な対策を簡単に教えてもらえると安心する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止対策。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やヒヤリハットはその日にうちに対応策を検討し、実施する。その後のミーティングで確認、検討、評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに対応策を検討し実施できるよう努めている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち帰り忘れを防ぐ為の対策を工夫して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物の入れ間違いや忘れ物がないよう工夫しているが、まだ同じような事がある。</li> </ul>

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、利用者様と関わり、会話が増えるよう意識し、希望を汲み取り支援する。時間に余裕がない為、その為の業務改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から意識し、関わりや会話が増えるようにする。介助の時、送迎の時、時間の空いた時など。また、洗い物を減らし、その分関わりを増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に追われ、会話する時間がとれない、なかなか希望を聞くことはできない、実行するまで至っていない。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーが記録に集中できる時間を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員皆で、日中携わったらその都度記録していけば、リーダーの記録時間を決めなくても良いので、声をかけ合い記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員皆で協力し、携わったら記録するようにした。また、リーダーの代わりにできる事を行いフォローした。</li> <li>・引き続き、業務の中で改善できることや効率化できることは改善していけると良い。</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録で確実に情報把握できるよう、わかりやすく記入する。処置等の確認をもっと把握しやすくなるよう検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処置の変更がある時は、業務日誌にその旨記入し、ケース記録の見開きに現時点の処置内容がわかるように記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処置の変更がある時はスムーズに更新できるようになり、内容を確認しやすくなった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様について、気付いた事、対応等、普段から話し合える環境づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもと違う事、気付いた事があつたら、リーダーに相談・報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもと違う事や気付いた事は、その都度リーダーに報告・相談できている。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも外に出る時間ができるよう、業務改善をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外に出て外の空気を吸い、気分転換を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日に利用者様をお誘いし、散歩、日光浴、花を見に行く、ドライブができ、楽しんで頂けたと思う。</li> <li>・コロナ禍でなかなか外出できない中、いろいろ心配りしていただき、ありがとうございます。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの状況によるが、地域との交流の機会があれば参加する。畑の収穫、地域の草取り、ゴミ拾いなど、できる範囲で参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況に応じ、地域と交流の機会があれば参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況により、地域との交流は難しかったが、畑作りと収穫に協力頂いたり、避難訓練、草取りも、協力して行えた。</li> <li>・コロナウィルスの感染対策をとりながら、行える活動を検討していく事が重要。</li> </ul>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに得られた情報を書きやすくし、皆で見て共有する。そこから思いや希望を見出し、どうしたら叶えられるか皆で話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな情報を集め、希望を汲み取っていく。ケースカンファレンスで、情報共有、検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな情報を書きやすく見やすくしたが、情報数が少なく希望を汲み取る事が難しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇の確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な言葉遣い、行動に気を付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な言葉遣い、行動を心掛けているが、振り返りを続け、直していかなければならない事は多い。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇の振り返りの機会を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングで振り返りをした。接遇の参考書籍や資料を読み、振り返りをした。</li> </ul>

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念を掲げ、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援している。</li> <li>・職員の専門技術の向上の為の取り組みが不十分。</li> <li>・情報共有の方法を検討し、以前より周知や確認がうまく行えている。</li> <li>・職員が安心して働けるよう努める。</li> <li>・災害に備え、具体的な対応方針の共有が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修機会の確保</li> <li>・情報共有の方法の振り返り，評価</li> <li>・働きやすい環境の整備</li> <li>・新人職員への指導方法の統一</li> <li>・職員の安全確保，対策の検討</li> <li>・災害などの緊急時の具体的な対応方針の共有，事業継続計画の作成，備蓄品の確認・補充</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職と看護職が連携し、在宅での生活を支えることができる。</li> <li>・利用者様の状況変化に応じ、利用計画や支援方法を検討し早期の対応に努めている。状況変化が著しい事や、柔軟な対応となる中で、その都度計画書を変更する事は難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況変化に応じた計画の変更</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の入退院，施設の入退所の際は、相談員や看護師と情報共有をしっかりと行い、希望する生活が送れるよう支援している。</li> <li>・休日夜間を含め、管理者を通じ医療職，医療機関へ繋ぎ、急変時に対応している。</li> <li>・参集型での運営推進会議はできなかったが、情報交換，相談等は随時行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機関・多職種との連携の継続</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であり、地域との交流は難しいが、地域の方から協力いただく事や、地域関係者との情報共有，相談等、行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との情報共有，協力，交流</li> <li>・外出の機会</li> </ul>

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・介護で連携し、意向に沿い、自宅でも事業所でも看取りができるよう支援している。</li> <li>・ご利用者（ご家族）へのサービスの満足度調査のアンケート等を行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇の振り返り，適切な接遇</li> <li>・利用者様の思い・希望の汲み取り，検討，実施</li> </ul>
---------------------------------	---	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
② 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		・厳しいお仕事とは思いますが、若手職員を大切に育てて下さるよう期待しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b>					
		職員へ定期的なヒアリング，必要に応じて話し合いがされている。育成計画は作成していない。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b>					
		内部研修で看取り研修，法人研修，他にも、内部・外部研修を受ける機会があったが、新型コロナウイルス感染状況により、集団研修の機会が減った。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状ではベターだと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的にカンファレンスを行っており、その他でも随時、連絡・相談しており、ケース記録，業務日誌，口頭にて、情報共有している。					
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 新型コロナ感染予防の為、参集型の運営推進会議とせず、書面による報告・情報提供とした。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<p>・新人職員の指導マニュアルのようなものがあると、誰がどこまで伝えたか等が職員間で共有できると思う。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
<b>① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備</b>							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>勤務希望，有給休暇取得，個々の事情により勤務配慮されている。職員同士声をかけ合い耳を傾け合い協力し、働きやすい環境を心掛けているが、体力的・精神的疲労がある。日々様々な場面があり、新人職員への教え方が統一していない部分がある。</p>					
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>カンファレンス，ミーティング，業務日誌，ケース記録，口頭での情報の周知により共有している。その日の伝達事項は情報共有シートに書く事で周知、確認しやすくなった。処置等変更がある時はケース記録の見開きに「現時点の処置内容」を書く事で、一目でわかりやすくなった。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
② 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			<p>・過日、埼玉ふじみ野市の人質立てこもり事件で、地域の在宅医療の先駆的存在で熱心で優しく立派な医師が殺害されるという凶悪事件が発生した。常識では考えられない事件で、多種多様な人がおり、医師の仕事は大変と思うが、地域を守る医師の生命・身体の安全は、最優先、第一の課題と思う。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>ヒヤリハットや事故報告書にて情報共有し、早急に対応策を検討し実施、ミーティングで再検討や確認をしている。事故の件数は減っているが、忘れ物や荷物の入れ間違いの同じようなミスがあり、ダブルチェック等予防の工夫をしている。職員の安全確保については不明確。</p>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている			○		<p>・最近の豪雨や自身の多発で災害対策基本法もわかりやすく改正された。有事の際に「避難とは難を避けること」を全員で理解し、どのように行動し、介護者の安全を守るか、決めて、訓練する。</p> <p>・今後、BCP（事業継続計画）の作成と備蓄品の確認・補充等、定期的に行っていく事が重要だと思う。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>災害時の対応や緊急時の連絡方法は目の付く所に掲示している。地域の方の協力を得て、消防訓練を行っている。災害時のサービス提供継続に関して不安は大きい。備蓄品の確認が必要。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>個々の暮らし方や、介護者の状況に合わせて通い・泊まり・訪問を柔軟に組み合わせ、サービス提供している。予定外の急な泊まり、送迎時間の変更、緊急時の訪問・通院等対応している。また、電話・テレビ電話や訪問により、24時間安心して生活できるよう支援している。</p>					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ケース記録、業務日誌、口頭で情報共有している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			・利用者や家族の意向の把握の頻度はどのような感じでしょうか？	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者・家族の意向に沿って、目標の達成に向けた計画を個別に作成している。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 心身機能が維持・向上し、希望する生活が続けられるよう、ご本人ができる事は続けてできるような計画と支援を心掛けている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			<p>・(機会があれば) 個人情報 はふせた形で計画書等を見 せていただくと、イメージ がしやすいと思う。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管 理」の2つの視点から、充足度を 評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護にお いては、特に看護職による予後予 測などを踏まえて計画を作成する ことが重要です</p>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続 的なアセスメントにより、利 用者等の状況変化を早期に 把握し、計画への適宜反映が 行われている			○		<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜 反映」の2つの視点から、充足度 を評価します</p>	
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>転倒予防や、状態・病状の悪化予防、早期 発見・対応に努めている。</p>					
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>状況変化を把握し、状況に合わせ利用計画 や支援方法を検討・実施している。その都 度計画書の書き換えはできていない。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>介護職は生活面、看護職は医療面を担当し、役割分担し連携している。</p>					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ケアマネージャーを通してカンファレンスの時や、その都度、情報共有や相談を行い、記録や口頭にて周知・共有している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説明 し、利用者等の理解を得て いる		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画の内容や生活の留意点を説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療職より適宜説明し、理解を得るようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		希望や意向をできるだけ把握し、計画に反映しサービス提供するよう努めている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		状況に応じて安心して在宅生活を送れるよう、相談・検討・支援している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○				✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容]					
		適切な時期に主治医より現在の状況や今後の予測、方針の話し合いがあり、内容を記録により情報共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			・(機会があれば) 具体的に連携体制について、どのような体制づくりをされているのか、教えていただきたい。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		休日夜間を含め、いつでも対応できる体制がある。管理者を通して医療職、医療機関へ繋げている。					
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			・新型コロナ感染予防のため、会議や茶の間等が減少したがやむをえなかった。先生の指導、教養や、地域の問題、困りごとなど情報交換は、勉強になる。「夜の茶の間」は、多方面からいつからやるのか？ 問い合わせが多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		新型コロナ感染予防の為、集まっての会議はできないが、情報交換・相談は随時行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ホームページと事業所内の記録ファイルで見ることができる。</p>					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内清掃草刈りには先生はじめ、職員の参加で地域との交流で成果が上がっていると思う。(自治会では非常に感謝している。)</li> <li>・畑仕事も住民のK様が、一生懸命汗を流して美味しい野菜を作ってくれる。</li> <li>・コロナウィルスの影響で包括も支え合いのしくみ作りも集まっていたらいての会議や研修等の開催が難しい状況が続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>新型コロナウイルス予防の為、地域との交流が難しかった。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり でき て い な い	全く でき て い な い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			○		<p>・自治会も高齢者（独居者）留守空き家等が多くなり、事案や相談もあるので、見守り活動等実施しているが、情報共有を図り課題の解決を図っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○		<p>ご家族へは介護方法の相談や助言・提案を行っている。近隣の方に見守り等、協力いただく場合もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</li> <li>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</li> <li>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</li> <li>4. 利用者の1/3には満たない</li> </ol> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>大半の利用者様は目標達成できていると思う。</p>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</li> <li>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</li> <li>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</li> <li>4. 利用者の1/3には満たない</li> </ol> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>医療と介護が連携し、医療が必要になっても安心して在宅での療養生活が継続できるよう支援している。</p>	<p>・ご利用者（ご家族）へのサービスの満足度調査のようなアンケートなどは実施されていますか？</p>	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている</li> <li>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</li> <li>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</li> <li>4. 利用者の1/3には満たない</li> <li>5. 看取りの希望者はいない</li> </ol> <p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>ご本人・ご家族の希望に応じ、自宅でも事業所でも安心して看取りができるよう、医療と介護が連携し支援している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</li> <li>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</li> <li>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</li> </ul>